

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5207276号
(P5207276)

(45) 発行日 平成25年6月12日 (2013. 6. 12)

(24) 登録日 平成25年3月1日 (2013. 3. 1)

(51) Int. Cl.

F 1

E 0 5 D 15/06 (2006.01)

E 0 5 D 15/06 1 2 2

請求項の数 3 外国語出願 (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願2007-305972 (P2007-305972)	(73) 特許権者	506184934
(22) 出願日	平成19年11月27日 (2007. 11. 27)		クライン イベリカ エス. アー.
(65) 公開番号	特開2008-223462 (P2008-223462A)		スペイン国 バルセロナ, 08110 モ
(43) 公開日	平成20年9月25日 (2008. 9. 25)		ントカダ イ レイクサック, エディフィ
審査請求日	平成22年11月19日 (2010. 11. 19)		シオ クライン, カ エメ. 1, カレテラ
(31) 優先権主張番号	200603038		エネ-150 アー サバデル, ポリゴ
(32) 優先日	平成18年11月28日 (2006. 11. 28)		ノ インドゥストリアル カン クヤス
(33) 優先権主張国	スペイン (ES)	(74) 代理人	100105647
			弁理士 小栗 昌平
		(74) 代理人	100105474
			弁理士 本多 弘徳
		(74) 代理人	100108589
			弁理士 市川 利光

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 引き戸用同期作動システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

戸のパネルへ接合する自由グリップと引っ張りグリップとで構成する種類の引き戸用同期作動システムであって、

伝動ベルトが、前記引っ張りグリップと前記自由グリップがガイド上で動くことを可能にし、

前記引っ張りグリップと前記自由グリップとが、フランジを有し、

前記ベルトと前記引っ張りグリップとが、前記引っ張りグリップの構造に一体化されていない基部を有する接続シュースにより接合され、

前記基部に、前記シュースと前記引っ張りグリップとの間の接合用の螺子の挿通に適した孔が形成され、

前記引っ張りグリップの前記フランジに、前記接続シュースと前記伝動ベルトとの間の接合用の螺子の挿通に適した孔が作成され、

前記基部から壁を垂直に延出させ、前記壁から上部カバーを出現させ、前記カバーと中間基部との間に隙間を残し、前記隙間に前記ベルトを挿通させて前記螺子により捕捉することを特徴とする引き戸用同期作動システム。

【請求項 2】

前記引っ張りグリップにおける前記シュースと前記引っ張りグリップとの間の接合用に2本の螺子を設けたことを特徴とする請求項1記載の引き戸用同期作動システム。

【請求項 3】

10

20

前記基部から前記ベルトとの接合用の各螺子を出現させることを特徴とする請求項1記載の引き戸用同期作動システム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本明細書の目的は、引き戸用の同期作動システムを改良して完成させることであり、同期作動システム内で接続シューを使用することからなる。

【0002】

本発明は、特に引き戸に適したものであり、この引き戸は、戸に補助されて通行可能な通路領域を形作る固定パネルに対し動かすことができる。

10

【背景技術】

【0003】

本出願人はスペイン特許発明（特許文献1）の所有権者であり、この特許発明は二つの接続グリップとそれらの対応接続部とを有する引き戸を同期作動する装置を提供することを目的とする。本出願人はまた、ポルトガル特許発明（特許文献2）、すなわち引き戸ガラス板用機構の所有権者でもあり、これは引き戸の懸架グリップを改良したものである。

【0004】

それにもかかわらず、両システムとも機構（懸架装置）の内部構成要素に対するアクセスは飾り縁輪郭からなる蓋を介して、常に水平に行われる。この要素の構成によると、システムの取り付けと将来の保守、例えば調整や交換等ができるように、間隙を残すことが常に必要となる。

20

【0005】

【特許文献1】 スペイン特許発明第2246673号明細書

【特許文献2】 ポルトガル特許発明第200502261号明細書

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

本発明特許の対象である引き戸用の改良された同期作動システムは、検討した技術的欠点を軽減し、必要に応じて取り除くよう設計されるものである。

【課題を解決するための手段】

30

【0007】

取り入れられる改善は、螺子により引っ張りグリップあるいは懸架装置に接合される接続シューを使用することからなる。懸架装置はまた、原特許において特許請求の範囲に記載したものについても修正し、接続シューへ接合にするのに適した孔とフランジとを配設するようにしてある。

【0008】

本発明の動作は、次の通りである。戸を保持するグリップ、すなわち引っ張りグリップと自由グリップの両方（両方とも懸架装置である）を、まず中央寄せする。グリップをいったん所定場所に配置してから、接続シューを引っ張りグリップに固着する。この目的のために、シューの孔が引っ張りグリップの孔に対向するまで、接続シューを伝動ベルトに沿って動かし、両要素を螺子により固定する。最後に、懸架装置、すなわち接続シュー組立体を螺子により伝動ベルトへ固定し、各螺子を前記ベルトの2本の歯の間に固定する。

40

【0009】

現在の技術水準において使用される構成に対し、接続シューを使用することによって下記の利点が得られる。すなわち、

懸架装置へのアクセスが垂直に実行されて水平間隙がなくなり、このシステムは任意の場所への取り付け可能であることによりコンパクトかつ多用途となる。また、

あらゆる取り扱いが、修理や組立のいずれのためにも、原特許の請求対象に対し単純化される。

【発明を実施するための最良の形態】

50

【0010】

一連の図は図面の簡単な説明に簡単に説明してある。これらは発明をより良く理解するのを助け、その非限定的な例として提示した前記発明の一実施形態に明確に関連するものである。

【0011】

添付図面からわかるように、引っ張りグリップ（１）と自由グリップ（２）の両方においてフランジ（１２）が原特許に対し改変されている。引っ張りグリップ（１）内でフランジ（１２）内には、シュー（３）と伝動ベルト（４）との間を接合するための螺子（３２）の挿通に適した孔（１１）が作成されている。同様に、引っ張りグリップ（１）内にはシュー（３）と引っ張りグリップ（１）との間を接合する２本の螺子（５）が存在する。

10

【0012】

接続シュー（３）の構成を、図２から見てとることができる。それを下部から上部へと説明すると、接続シュー（３）は基部（３５）から形成されており、この基部内に引っ張りグリップ（１）を接合する孔（３１）が作成されていて、この基部からベルト（４）に接合するための各螺子（３２）が現れる。壁（３３）が基部から垂直に延びており、この壁から上部カバー（３４）が出現し、このカバー（３４）と中間の基部（３５）との間には隙間が残してあり、この隙間にベルト（４）を挿通させて螺子（３２）により捕捉する。

【0013】

図３は、引っ張りグリップ（１）内で接続シュー（３）が伝動ベルト（４）に接合する方法と、伝動ベルトが引っ張りグリップ（１）のホイールによってガイド（６）へ係止する方法とを示すものである。

20

【0014】

図４は、戸のパネル（７）内で本発明の対象であるシステムの組立を示すものである。

【0015】

本特許発明の特質を十分に説明してきたが、本発明は、下記の特許請求の範囲に記載した特徴を実質修正しないような幾つかの変形を形状と材質において施すことが可能であることだけは付け加えねばならない。

【図面の簡単な説明】

30

【0016】

【図１】本発明の対象である作動システムを組み付ける自由グリップと引っ張りグリップの図である。

【図２】接続シューの図である。

【図３】引っ張りグリップと伝動ベルトに接合させた接続シューの図である。

【図４】各引き戸に組み付けられた作動システムの図である。

【符号の説明】

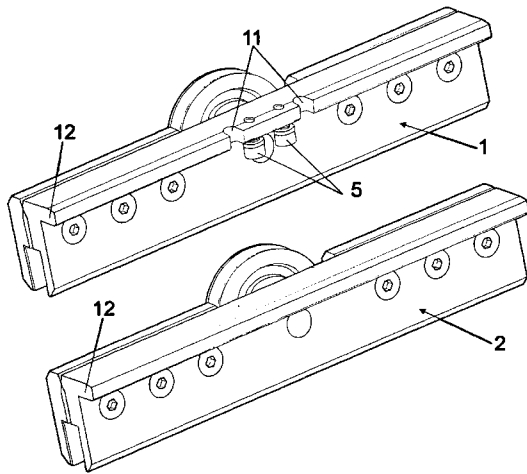
【0017】

- １ 引っ張りグリップ
- ２ 自由グリップ
- ３ 接続シュー
- ４ ベルト
- ７ 戸のパネル
- １１ 孔
- １２ フランジ
- ３１ 孔
- ３２ 螺子
- ３３ 壁
- ３４ カバー
- ３５ 基部

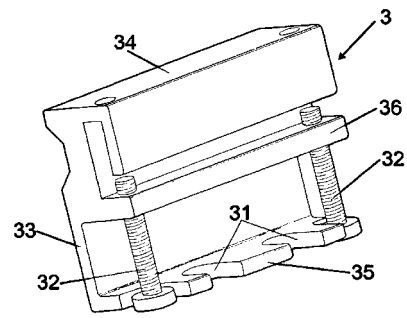
40

50

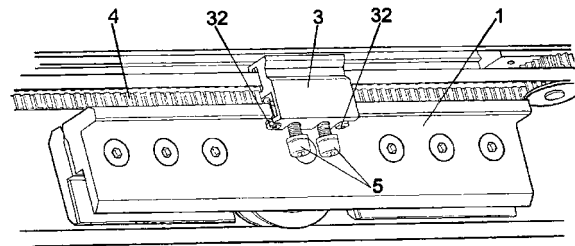
【図 1】



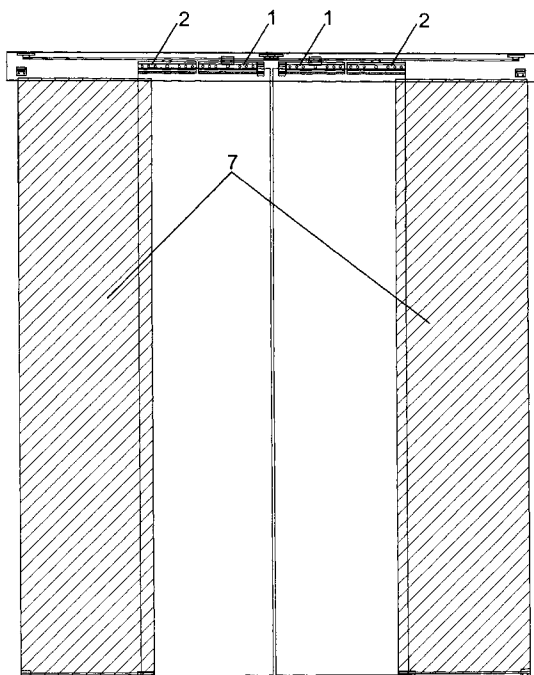
【図 2】



【図 3】



【図 4】



フロントページの続き

(72)発明者 タレガ リョレト, ミゲル アンヘル
スペイン国 08017 バルセロナ, ネナ カサス, 20-22

審査官 大谷 純

(56)参考文献 欧州特許出願公開第1544399 (EP, A2)
特開昭53-116627 (JP, A)
独国特許出願公開第03238204 (DE, A1)
特開平10-196222 (JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
E05D 15/00-15/58
E05F 17/00